

皆さんおはようございます。いよいよ今週で1学期が終わります。そして、夏休みです。あともう一步がんばりましょう。

先週、5,7,5で作る俳句の勉強を4年生、5年生、6年生がやりました。俳句というのは、自分で感じたことを短い言葉で表すものです。その文字の数が、5文字、7文字、5文字、5,7,5で続けるものです。その俳句作りに、特別な先生が来てくれました。名前は、佐々木ただとし先生です。5年生の佐々木先生と同じ名前ですが、特に関係はありません。その先生は、荒川区俳句連盟の会長をされていて、荒川区の俳句作りのリーダーをされています。荒川区は俳句宣言をしていて、区民の私たちが、みんなで俳句に親しもう、俳句を作って楽しもうと、決めた区なのです。その先生に特別授業をしていただきました。一人一人が教えていただき、実際に俳句を作りました。そして、全員の作品を黒板に貼り、どの作品がいいか選ぶということをしました。

今日は、その選ばれた作品を紹介しましょう。

どれもすばらしい俳句でした。

俳句は誰でも簡単に作れます。もう今週で学校が終わってしまいましたが、また、ぜひ夏休みや2学期には皆さんで俳句を作ってみましょう。自由に作った俳句は、玄関においてある投句箱に入れてください。入れてくれた句は、みんなにも紹介したいと思います。それから、4,5,6年生が作ってくれた俳句は、2学期になってから廊下にきれいに飾っていきます。

さあ、夏休みまであと5日間、がんばっていきましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。